

『LGBTとキリスト教——20人のストーリー』は、日本キリスト教団出版局が2022年3月に刊行した書籍です。月刊誌『信徒の友』の連載時から大きな反響をいただき、書籍としても2022年に発行されたキリスト教書の中から、キリスト教書店大賞に選ばれるなど、多くの読者の共感を得ることができました。

ところが、そうした好意的な受け止め方とは反対に、この書籍の「書評」と称して、『福音と社会』（カトリック社会問題研究所発行）323、324、325号（2022年8月～12月）に性的マイノリティに対する差別記事が掲載されました。版元としては、「書評」の名を借りて、この書籍と対極にある文章が掲載されたこと、そのために書誌情報が用いられたことを遺憾に思い、強く抗議しました。

また、同じ信仰に立つ雑誌に、同信の執筆者たちが込めた思いを踏みにじる記事が、抗議にもかかわらず掲載されつづけたことに、深い悲しみを覚えました。

一方、この「書評」が掲載されたことを受けて、さまざまなキリスト教の教会、団体、メディアが抗議の声をあげてくださいました。そのことに感謝します。大きな力を与えられました。

私たちは、この世界を創造された神さまが、そこに生きるすべてのいのちを愛のうちに造られ、祝福されていることを信じます。これからも、そのことを聖書に立って、出版という手段をもって伝えることに努めます。また、神さまがお造りになったひとりひとりの生の祝福を損なう差別や偏見に与することのないよう、自戒を込めて、出版活動に携わる所存です。

どうぞ今後とも日本キリスト教団出版局の働きをお支えくださいますよう、心からお願いいたします。

2023年10月

日本キリスト教団出版局

理事長 吉岡光人

局長代行 飯 光